

岩手県職労

月2回刊=1686号
2025年12月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所
盛岡市内丸10番1号
岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所
盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジョー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

12・10 人事異動要求書提出・総合案内員第2次署名提出 早期内示・本人希望尊重要求 改めて総合案内員任用継続要求



▲人事課総括課長との交渉に臨む県職労交渉団 (左)

12月10日、「2026定期人事異動に関する要求書」及び「総合案内窓口及び総合案内員配置継続を求め署名(第2次)」268枚・1816筆を県山人事課総括課長に提出のうえ、交渉を行った。県職労は「早期内示、本人希望尊重、多大な負担回避等を重点に、人事異動対策の取り組みを進めていく」。

交渉結果の概要は次のとおり。

①早期内示・異動期間確保
転居のための準備期間や、適切な事務引継ぎに要する期間を十分確保できるように、人事異動内示を早期化し、3月1日までの内示を要求したことにに対し「人事異動作業が始まったところで、現時点で内示日を申し上げることはできない」「これ

までの経緯を踏まえ、内示日から発令日までに一定程度の期間を確保することも含め、できる限り配慮していきたい」と回答した。

②本人希望の尊重
職員の家庭や個々の事情について十分に把握したうえで、本人希望を尊重すること、長距離通勤・長期単身赴任等、多大な負担を生み出さないよう要求したことにに対し「身上調書の内容を拝見して、本人の希望や家庭事情、単身赴任の状況、子育て、介護、病気療養の状況などを把握し、県職労からの情報も拝見しながら検討していきたい」「新幹線や高速道路に係る通勤手当の上限を月15万円まで引き上げたことで長距離通勤を強いる配置を進めることではない」「家庭事情等を考慮した配置に努めたいが、全ての職員の意向に沿うことは難しいことも御理解いただきたい」と回答した。



▲人事課総括課長交渉に臨む現業評交渉団

③出向・派遣者への対応
各種団体、法人等への派遣者に対しては、1か月以上前に本人に説明し、同意を得る取扱いとされているが、単に派遣先の名前を告げられるだけの実態が報告されており、派遣先の勤務労働条件を記載した書面を交付して行うよう要求したことにに対し「派遣先の勤務労働条件は公益法人等派遣法上、職員に派遣先との取

決めの内容を明示し、同意を得なければならぬ。書面により明示した上で説明を行っている」と回答した。また、小規模町村支援のためのスポット派遣について、超過勤務の可否や超過勤務命令の方法をはじめ、勤務労働条件の取扱いが当事者に対し十分に伝わっていない実態が報告されており、勤務労働条件について記載した書面を交付して1か月以上前に本人への説明を行い、同意を得るよう要求したことにに対し「可能な限り早い段階で本人に派遣先等をお伝えしている」「法律等の趣旨を踏まえ、適正な職員派遣を行っていく」と回答した。

④総合案内員継続配置
北上・遠野・千厩の3合同庁舎のみ来年度任用継続とされたが、当事者にとっても、職場に残される他の職員にとっても、到底納得できないため、改めて継続配置を要求し、これに対し「DXの進展に伴う案内員の方の変更や、情報公開事務の効率化等の見直しを進める」「県民サービスの維持・向上と職員負担の軽減に向けて今後も取り組む」と回答した。

交渉団からは「職がなくなくなった後の仕事をどうするのか説明が尽くされていない。今後は事務的に詰めた」とした。

年末・年始の事故等には十分お気をつけください

寒さが厳しい冬期の外出では、路面凍結等もあり、車の運転には十分に気をつけなければなりません。

また、年末・年始の休暇は帰省・旅行・レジャーなど出かける機会が増えたり、雪道に慣れていない県外からの車両が多くなったり、いつもに増して注意が必要です。

万が一の事故の際は自治労マイカー共済の緊急連絡先へ!

◆マイカー共済事故受付センター◆
フリーダイヤル 0120-0889-24

◆自治労マイカー共済ロードサービス◆
フリーダイヤル 0120-889-376

11・21 現業評人事課・主管室課長交渉 正規職員の人員確保・増員を

11月21日、現業評議会(菅原薫議長)は、現業統

一闘争として、県山人事課総括課長、岩間管財課総括課長、尾形農林水産企画室管理課長、佐々木県土整備



▲県山人事課総括課長に要求書を手渡す菅原現業議長(右)

①現業職員の人員補充
退職予定者のうち再任用今年度末退職予定者につい

て、希望者を全員再任用すること及び欠員が生じないよう補充を求めたことにに対し「雇用と年金の接続の観点から、これまでと同様に、職員の希望にできるだけ配慮したい」と回答した。

②土木部運転技士の配置
欠員状態が生じないよう退職者が出た場合には速やかに補充を求めたことにに対し「前倒し採用も選択肢に含め検討」と回答した。

③管財課運転技士・守衛の採用
管財課運転技士の計画的な新規採用、直営による県庁守衛、適切な人員体制の確保、退職等満期による新規補充を求めたことにに対し「業務需要見通し等、今後

④試験研究機関等の技能の増員
各試験研究機関における技能員の拡充及び人材確保策としての処遇改善を求めたことにに対し「継続的な新規採用のほか年度途中の採用など機動的に対応」「処遇改善として給料表の初任給基準及び中途採用者の初任給を引上げた」と回答した。

⑤失職特例の導入
公務中の事故について、職員の失職特例の導入を求めたことにに対し「法律上の欠格条項に該当する場合で

も失職しないこととする特例を設けることは現時点で対応困難」と回答した。

【主管室課長交渉】
各主管室課長に対し、運転技士の増員及び技術継承のための複数体制の回復を求めたが、増員を含めた複数体制の回復については「今後より良い方向性を検討する」との回答に留まった。



▲職場実態改善を訴える現業評及川幹事(中央)

結果)では1位「貧困問題」2位「環境問題」3位「教育問題」という結果が出ている。岩手に絞った結果では、1位「医療課題」2位「人口減少」。どれも時間を要する問題ばかりだが、2026年は馬く(うまく)いきまうように。

第五世代

今年も残すところ2週間あまりとなった。来年の干支は「午」。どんな年になるだろうと今年を振り返りながら考える▼2025年は「巳年」

蛇の持つ「脱皮」のイメージから「変革・成長・再生」の年とされているが、金運・財運の象徴でもあるため、自分の金運に期待を膨らませた人も多いだろう。女性初の首相も誕生し、変革の兆しも期待される▼では、2026年はいくとう「午年」。十干の「丙」と十二支の「午」が組み合わせられたもので、60年に一度巡ってくる稀有な年とされている。また「丙午」は火の要素を二重に持ち、情熱や強さを象徴するとされており、勢いのある一年になるとも解釈されている。大地を蹴って走り出す馬のように、今まで止まっていたものが一気に動き出す、そんな年になるだろうか▼最新の、日本で関心度が高い社会問題ランキング(インターネットアンケート結果)では1位「貧困問題」

12月5日に釜石支部青年婦人部では、賃金学習(差額支給)について学ぼうと題して、第3回新採用職員学習会を開催し、新採用7人、過年度採用者1人を含み12人が参加し、講師に県職労本部から須藤開中央執行委員を迎えました。賃金学習の内容は、今回の12月の一時金は新採用職員にとって初めての満額期末勤勉手当でもあり、給与改定に伴い年末に支給が予定さ

差額支給額計算してみた 釜石支部 新採用学習会開催

れている差額支給額についてのしくみ、算定方法について学習をしました。新採用職員は、自分の給料明細表を用いて、各々、差額支給額の計算をし、新採用職員の眼がとも輝かしかつたです。私たち正職員も改めて、期末勤勉手当のしくみ、差額支給額の算定方法などを確認ができ、とても内容が濃かった学習会だったと思います。新採用職員以外の職員に



▲差額支給額計算学習会のようす

もこういった学習会など、自分のモチベーションに繋がるような学習会も開催出来たらと思います。学習会終了後、参加した過年度採用者から加入届が提出されました。



▲ボウリング交流会のようす

ストライク王 に俺はなる!

盛岡支部青年婦人部

11月14日(金)に、盛岡支部青年婦人部主催のボウリング交流会をラウンドワンにて開催した。新採用職員5人を含む計18人が参加し、チーム分けはせずに個人戦で2ゲーム行った。交流会では、佐藤嘉彦盛岡支部長の始球式から始まり、ストライクを出した参加者にはプチ景品用意し、参加者はストライクを取るという熱意をボールに込めて10本のピンめがけてボールを投げた。参加者の中には、このボウリング交流会のために練習してきた参加者や数年ぶりのボウリングという参加者もあり、1ゲームのスコア190を叩き出す参加者、ストライクこそ取れなかったがスペアを取る参加者、ガターを出してしまっ参加者いろんな



▲ボウリング交流会参加者集合写真

参加者がいて大いに盛り上がった交流会となった。今回のボウリング交流会には未加入の新採用職員及び過年度採用者もいたことから、加入促進の観点で同じレーンでプレイする参加者の配置も考え、加入届も直接未加入者へ手渡しをして交流と併せて声掛けを行った。その結果、ボウリング交流会に参加した新採用職員から加入届が提出された。

ミニミニ権利手帳づくり

青年婦人部 婦人対策協議会

県職労青年婦人部婦人対策協議会(議長胆江支部 中川理恵さん)では女性職員が抱えている課題や働き方など改善に向けて調査や研究などを行っています。10月25日に第1回婦人対策協議会を開催し、休暇制度について次の実態が出された。「若い職員は年休とっていない。採用1~2年目職員も休みやすい環境づくりが必要」「生理休暇は女性の総括だから話しやすくされる。総括がないと男性の課長だから代行申請をお願い

いしにくい」「生理休暇年2日だったかな?」「病院に行く都度年休使って休んでいたから、年休が足りなくなつて焦った」など休暇が取れない、取りづらい環境や休暇制度を理解してないといった実態が出された。出された実態を踏まえて、何か取り組みができないかを検討した結果、他県職労女性部で権利手帳づくりの取り組みをしている事例を基に婦人対策協議会でも権利手帳づくりの取り組みを



▲山形県職員連合労働組合女性部で作成している「みにみに権利手帳」

することを確認し、11月30日の第2回婦人対策協議会で現在の休暇制度についてプチ学習をしながら権利手帳に掲載する休暇をどれにするか選定も行った。右図の権利手帳を参考に名刺サイズよりひとまわり小さいミニミニサイズで今後作成していく。

第58回全国青年団結集会在鳥取県米子市で開催されます。

現在、物価上昇が続くなかで働くものの暮らしはますます困難となり、「人手不足」の下で合理化と労働強化が進められています。26春闘における大幅賃上げを勝ち取る決意を固め合う第58回全国青年団結集会在下記の日程で開催されます。各支部の青年婦人部員の積極的な参加をお願いします。また、物販にも取組みますので各支部でのご協力をお願いします。

日程	2026年2月14日(土)~15日(日)
場所	米子ワシントンホテルプラザ (鳥取県米子市明治町125)
参加集約	2026年1月7日
参加要請	県職労から2名(先着順)



R7.2.15 第57回全国青年団結集會

物販内容
 団結ボールペン(赤・黒) 1本 500円
 団結トートバッグ 1枚 1,200円
 (A4ファイルが収まる大きさ)
 牛骨ラーメン 1箱 1,500円
 (熟成乾燥麺2人分スープ付)



▲1.20 土評協議会における県土整備部交渉



▲2.3 青婦部 人事課給与人事担当課長へ要求書提出



▲5.1 岩手県中央メデー



▲5.10 県庁支部いちご狩り交流会



▲6.13 反核・平和の火リレー



▲6.14 県職労定期大会



▲7.12 県本部新入組員・新規採用者交流会



▲10.2 宮古支部青婦部スポーツ交流会



▲10.29 「生活防衛」総決起集會及び交渉支援行動



▲11.5 胆江支部ボウリング交流会



▲11.7 確定闘争県職労総務部長交渉

写真でふりかえる 2025年

